

茨中・茨高の先生方はとても熱心に私たちの勉強を指導してくださいました。例えば、授業で扱った内容や問題集でわからなかったことがあった場合、先生に質問すると結論にたどり着くまでの理屈を踏まえてわかりやすく教えてくださいました。勉強を暗記中心ではなく筋道立てて理解することが好きな人は茨中・茨高の授業スタイルががっちり合うと思います！また、私は中3から高3まで「医学コース」に所属していて、医療分野に関する知識や興味を深めていきました。医学コースでは、普段の授業では学べないような実際に医療に携わる方々の経験談を直接聞くことができます。将来、医療を支えていきたい人や将来は未定だけど医療分野に興味がある人はぜひ医学コースに入って学んでみてください。

茨中・茨高には様々な学校行事があり、それぞれ全力で取り組むことで充実した学生生活を送ることができます。まず、中学では赤青黄緑の4色対抗の体育祭が開催されます。体育祭では運動競技に参加するだけでなく、観戦して応援するのも楽しみの1つです。体育祭の中のプログラムの1つ、応援合戦では各色伝統の応援を披露します。私は赤組でしたので沖縄の伝統舞踊、エイサーを踊りました。中1から中3の赤組全員で団結して応援を披露したのはとても楽しかったです！また、高校に入ると文化祭が開催されます。文化祭ではクラス企画といって自分たちの教室で出し物を作り上げます。クラス企画は基本的に先生は介入せず、自分たちが一から計画し、学校から配付される予算内に収めつつ資材を集めて組み立てるなど協働して作り上げます。そのため、クラス企画が成功したときの喜びはこの上ないです。さらに、茨中・茨高は毎年クラスマッチが前期・後期の2回あります。クラスマッチとは、クラス対抗で競技をして勝ち点の合計で争う学校行事のことです。競技内容はサッカー、バスケ、バドミントンなどの運動系種目はもちろん、大富豪、ジェンガなどの文化系種目もあるため、私のような運動が苦手な人でも楽しめる学校行事です！

先述した通り、茨中・茨高の先生方は勉強面に関して熱心な先生が多いです。例えば、放課後には希望者だけが受講できる課外授業があります。課外授業では通常授業の延長線上ですが、通常授業より一段深い内容を扱います。私は中学からとれる課外を部活動と両立できる程度に取っていました。中3次に、現代文の課外で共通テストの問題を解いたことを今でも覚えています。そのときはもちろん、自分含め誰も時間内に解き終わらず悔しがっていましたが、今振り返ってみると良い経験だったのかもしれません。学校の課外授業は誰でも無料で受講できます。大学受験を視野に入れて勉強するのなら、学校の課外授業を積極的にとることをお勧めします。また、茨中・茨高は中高一貫校なので中学・高校を共に6年間過ごす仲間に出会えます。私は大人になってからも必ず再会したいくらいの一生の友達に出会うことができました。彼らとは学校内では授業の内容を教えあったり、毎日一緒に昼飯を食べたり、休み時間に駄弁ったりして、学校外では通話しながらゲームして遊んだりして充実した学生生活を送れました。ともに6年間を過ごした学生生活は、かけがえのない思い出という言葉では表現しきれません。これを読んでいるあなたにも、ぜひ、茨中・茨高で充実した学生生活を送ってほしいです！

私は将来、茨城県の医師不足地域で小児科医として長期的に子どもの健康を支えていくことを強く望んでいます。高2次に参加した1日医療体験で、水戸市の小児科医の不足が原因で小児診療が停止している現状を知り、衝撃を受けました。小児科医の不足によって生じる診断遅れによって引き起こされる子どもの病気の重症化を防ぎ、長期的に健康を支えるため、私は筑波大学医学群医学類を茨城県地域枠で入学しました。茨中・茨高の校訓である「報恩感謝」を常に意識しながら、大学では茨城

県の地域の特性や課題を学び、医療技術を習得して将来の子どもたちの健康を支えられる小児科医を目指して、これからも努力していきます。